

第3期竹田市地方創生総合戦略（素案）の概要

計画策定の背景

竹田市は、深刻化する人口減少と少子高齢化、そして地域経済の活性化という喫緊の課題に直面しています。持続可能な地域社会の実現、そして未来世代へ希望ある社会として継承するため、「第3期竹田市地方創生総合戦略」を策定します。この戦略は、2025年度から2027年度までの3年間を対象とし、4つの基本目標を掲げ、具体的な施策を実行することで、地域社会の再生と発展を目指します。

本市の地域ビジョン(目指すべき将来像)

ひとが輝き 未来へつなぐ いのち溢れるまち「竹田」

計画の位置づけ

- ・竹田市総合計画の中から、地方創生に関連する施策を集中的・重点的に推進するための計画
- ・「まち・ひと・しごと創生法」第9条に基づき、竹田市の地方創生に関する施策についての基本的な計画

計画策定の基本的な視点

①人口規模が小さくても豊かに暮らしていける社会をつくる

②域内の財産には限りがあることを意識し、整理、集約、多機能化を進める

③市場特性や地域資源を最大限生かし、域外の力を味方につけ、域外から稼ぐ

④自立性・将来性・地域性・総合性・結果重視の政策5原則、とりわけ「結果重視」を意識した政策展開

政策体系

第2期戦略の「くらし・まち」、「しごと」、「思い・つながり」、「ひと」の政策分野を充実させながら総合計画との整合性を図りました。また、政策の実施にあたっては、デジタル技術等の活用で地方創生をの加速化を目指します。

基本目標Ⅰ 【人の流れ】誰もが集まりたくなる魅力的でいきいきとしたまち

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進 | 3 地域の魅力を引き出す観光プロモーション |
| 2 地域ブランディングを通じた移住・定住促進 | 4 多様な視点で地域を魅せる情報発信 |

基本目標Ⅱ 【しごと】働く人がいきいきと輝く活力のまち

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 農林畜産を成長産業と位置づけ、集中的に育成・誘致・効率化を図る | 3 地域産業活性化に向けた多角的アプローチ |
| 2 魅力的で柔軟な働き方の実現による多様な雇用機会とのマッチング | 4 地域経済の強化を目指す企業誘致戦略 |

基本目標Ⅲ 【子育て等】子どもも大人も共に成長する育みのまち

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1 結婚から子育てまで切れ目ないきめ細かい支援 | 3 健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり～ |
| 2 誰もが安心して暮らせる地域医療と自立支援のまちづくり | 4 子どもの学びを支える教育環境の整備と充実 |

基本目標Ⅳ 【魅力的な地域】誰もが快適に生活できる安全・安心のまち

- | | | |
|------------------------|--------------|------------------------|
| 1 地域コミュニティの活性化 | 3 公共交通の利便性向上 | 5 持続可能な地域環境の実現に向けた取り組み |
| 2 デジタルインフラを活用した生活環境の整備 | 4 地域資源の活用 | |

計画期間

令和7年度～令和9年度（3年間）

推進体制

□内部評価

各数値目標や重要業績評価指標（KPI）を用いて、施策の進捗状況を定期的に評価します。

□外部評価

「竹田市地方創生推進会議」において、学識経験者や各種団体の代表者による外部評価を実施します。

次期人口ビジョン

【竹田市の将来人口推計】

2025年：17,960人
2035年：14,123人
2050年：9,699人

出典：「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」
国立社会保障・人口問題研究所

○自然増（合計特殊出生率）
〇〇年〇.〇（〇〇年〇.〇）

○社会増
〇〇年までに流入超過

重点課題への対策により、
2050年に1万人維持を目指す

基本目標Ⅰ 【人の流れ】 誰もが集まりたくなる魅力的でいきいきとしたまち

基本方針

- 1 移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進
- 2 地域ブランディングを通じた移住・定住促進
- 3 地域の魅力を引き出す観光プロモーション
- 4 多様な視点で地域を魅せる情報発信

数値目標

- | | | | |
|--------------------|---------------|-------------------|-----------------|
| ① 空き家バンクの登録数 | ⑤ 文化財愛護少年団団員数 | ⑨ SNSフォロワー総数 | ③ 商店街振興組合新規組合員数 |
| ② 定住促進住宅取得補助金の補助件数 | ⑥ 観光入込客数総数 | －候補－ | |
| ③ 移住問い合わせ数 | ⑦ インバウンド来訪者数 | ① 空き家再生バンクへの物件登録数 | |
| ④ 健康増進プログラム商品の利用件数 | ⑧ ふるさと納税件数 | ② 総合関係人口増加数 | |

主な取組の例

1 移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進

- ① 移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進
 - ・都市圏の移住フェアへの参加による移住者呼び込み促進
 - ・デジタルマップを活用した地域特色の域内外への発信による移住定住促進 など
- ② 定住促進のための住環境整備
 - ・空き家バンク、空き家再生バンクの取組み
 - ・空き家助成金等の周知
- ③ 様々な分野、地域のひとのつながりによる関係人口の創出
 - ・大分都市広域圏・連携中枢都市圏による広域連携の促進
 - ・若年世代の交流促進

2 地域ブランディングを通じた移住・定住促進

- ① 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化
 - ・国指定史跡岡城跡と城下町ブランドを活かした賑わい創出の取組み
 - ・城下町交流プラザなどの公共施設や周辺商店街との連携による交流機会創出
- ② 湯治文化を活かした保養温泉地づくりとヘルスケア産業の創出
 - ・温泉利用型健康増進施設を活用したヘルスツーリズムの推進
 - ・温泉・自然などの地域資源を活用した健康増進プログラムの開発・販売
- ③ 地域の歴史・文化・自然などの地域資源の保全活動による地域力の向上
 - ・伝統芸能等を体験できる機会を増やすことでの後継者探しを推進
 - ・ユネスコエコパークをいかした「自然と人との共生」支援事業 など

3 地域の魅力を引き出す観光プロモーション

- ① 地域ごとのニーズを捉えた多様なツーリズムによる交流機会の創出
 - ・新たな観光コンテンツの開発
 - ・竹楽や薪能など、県外、市外からの誘客促進 など
- ② インバウンド（海外誘客）への対応
 - ・欧米や台湾からのインバウンドの推進及び高付加価値ツアーの誘致
 - ・観光についてSNSによる情報発信、Wi-Fi環境の整備など、受入環境の充実 など

4 多様な視点で地域を魅せる情報発信

- ① 竹田ならではの魅力的な情報コンテンツづくり
 - ・シティープロモーションによる発信力強化
 - ・竹田市で働く人の情報発信によるイメージアップ
- ② 様々な媒体による情報発信の強化
 - ・オープンデータの整備
 - ・ふるさと納税のPR促進 など

基本目標Ⅱ 【しごと】働く人がいきいきと輝く活力のまち

基本
的
方
針

- 1 農林畜産を成長産業と位置づけ、集中的に育成・誘致・効率化を図る
- 2 魅力的で柔軟な働き方の実現による多様な雇用機会とのマッチング
- 3 地域産業活性化に向けた多角的アプローチ
- 4 地域経済の強化を目指す企業誘致戦略

数
値
目
標

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------------|
| ① 畜産関係の機器導入の支援件数 | ⑤ 繁殖雌牛の飼養頭数 | ⑨ まちづくり会社と連携した伴奏型支援の実施数 |
| ② 新規親元就農者数 | ⑥ 副業等に必要スキル講座受講者数 | ⑩ 創業経営相談支援件数 |
| ③ 農業産出額（共販のみ独自推計） | ⑦ 就農者交流会の実施回数 | ⑪ 空き店舗活用件数 |
| ④ 圃場整備済み面積 | ⑧ 若年層の就労率 | ⑫ 商工会議所商工会新規会員数 |
| | | ⑬ 企業誘致相談件数 |
| | | ⑭ 起業相談数 |

主
な
取
組
の
例

1 農林畜産を成長産業と位置づけ、集中的に育成・誘致・効率化を図る

- ① 農業後継者（新規就農者や親元就農者）の育成と環境改善
 - ・竹田市ファーマーズスクール等の取組み
 - ・新規就農者・親元就農者への支援 など
- ② 企業との連携(農業)
 - ・農業の企業的経営、法人化の推進 など
- ③ 農商工連携による販路拡大・ブランド化の推進
 - ・ブランドイメージを高める販路拡大 など
- ④ 農林畜産分野での未来技術の活用
 - ・スマート農業やICTツールの活用支援
- ⑤ 農林畜産産業の発展を支えるための域内外活力の積極的誘致

3 地域産業活性化に向けた多角的アプローチ

- ① 市内産業の多角化
 - ・テレワークをサポートするコワーキングスペース等の確保
 - ・情報通信系企業の誘致による地場産業の多様化及び強化 など
- ② 商工業の活性化と空き店舗対策
 - ・空き店舗の利活用による創業支援
 - ・新商品開発、集客力強化、キャッシュレス決済普及促進等の経営課題への取組を支援 など
- ③ 元気な高齢者の活躍の場づくり
 - ・地域コミュニティと交流の場の充実 など

2 魅力的で柔軟な働き方の実現による多様な雇用機会とのマッチング

- ① 誰もが活躍できる職場環境の創出と働き方改革
 - ・男性の育児参加推進をはじめとした性別役割分担意識の改革
 - ・女性の雇用を検討している農業者への職場環境改善の取り組みの支援 など
- ② 若者から高齢者まで、多様な就労ニーズと雇用機会とのマッチング
 - ・合同企業就職相談会によるマッチング支援
 - ・副業・兼業等を含めた就労者と企業ニーズの掘り起こし、マッチングの促進 など
- ③ 外国人労働者の受入れ支援
 - ・外国人技能実習生受入れ機関への支援

4 地域経済の強化を目指す企業誘致戦略

- ① クリエイティブな発想を活かした起業・創業の推進と「創造的人材」の集積
 - ・伝統産業の担い手や技術を持ったクリエイターの受け入れ・起業サポート
 - ・「T S G 竹田総合学院」等のインキュベーション型工房提供
- ② 企業誘致施策の推進
 - ・遊休施設や企業立地促進条例を活用した企業誘致の推進
 - ・新たな企業用地の開発検討・推進 など

基本目標Ⅲ

【子育て等】子どもも大人も共に成長する育みのまち

基本 的 方 針

- 1 結婚から子育てまで切れ目ないきめ細かい支援
- 2 誰もが安心して暮らせる地域医療と自立支援のまちづくり
- 3 健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり～
- 4 子どもの学びを支える教育環境の整備と充実

数 値 目 標

- | | | |
|-------------------------------|----------------|-------------------------------------|
| ① 保育所待機児童数 | ④ 健診受診率 | ⑨ 「竹田の良さを知っている」と答える児童生徒(小6、中3対象)の割合 |
| ② この地域で子育てしていきたいと思う
保護者の割合 | ⑤ 養成講座受講人数 | ⑩ 児童生徒の学力 |
| ③ 二次救急の応需率 | ⑥ 平均寿命とお達者年齢の差 | ⑪ 主体的に学び、未来を創造する意欲を持つ児童生徒の割合 |
| | ⑦ 健診受診率 | |

主 な 取 組 の 例

1 結婚から子育てまで切れ目ないきめ細かい支援

- ① 保育サービスの充実
 - ・延長保育、病児保育事業の充実
 - ・一時預かり事業の拡充と利用促進 など
- ② 地域ぐるみで子育て一番宣言
 - ・「放課後子ども総合プラン」に沿った児童クラブと子ども教室の連携強化
 - ・地域子育て支援拠点事業の充実 など
- ③ 安心して子育て(妊娠・出産)できる環境づくり
 - ・妊婦健診費用、不妊・不育症治療等の助成の充実
 - ・こども医療費助成等による子育て支援の強化 など

3 健康一直線～市民総参加で健康寿命を延ばすまちづくり～

- ① 健康づくり組織の育成と支援
 - ・地域で活動する健康づくり組織の人材育成及び活動支援
 - ・健康をキーワードにしたスポーツ組織の育成 など
- ② 健康増進と予防活動の充実
 - ・未受診者対策の充実と受診促進
 - ・温泉を活用した健康づくり事業の推進 など
- ③ 高齢者の保健事業と介護予防の連携
 - ・地域の健康課題の整理、分析による健康づくりの推進
 - ・低栄養防止・重症化予防の取り組み、生活機能の改善 など

2 誰もが安心して暮らせる地域医療と自立支援のまちづくり

- ① 地域医療体制の整備・充実
 - ・救急医療体制の強化
 - ・生活習慣病やフレイル予防の推進
 - ・ICTを活用した健康管理体制整備を推進 など
- ② 誰もが自立した生活を継続できる地域づくり
 - ・竹田市型地域包括ケアシステムの実現
 - ・権利擁護・成年後見支援センターの機能強化と市民後見人の養成
 - ・市民後見人養成研修の推進

4 子どもの学びを支える教育環境の整備と充実

- ① 竹田郷土学の推進により、豊かな心・地域を愛する心をはぐくむ取り組み
 - ・地域と学校の連携による郷土愛醸成の推進
 - ・郷土学の推進と地域に根差したキャリアビジョンを描くための教育プログラム
- ② 竹田市学校教育ビジョンの推進と実践
 - ・大学や地域との連携を活用した協調的な学習の推進 など
 - ・国際姉妹都市との交流や外国人講師とのオンライン授業活用によるグローバル人材の育成 など
- ③ 子どもたちの学びを支える教育環境の整備・充実
 - ・ICTを活用した教育環境の整備と個別最適化・協働的な学びの推進 など
- ④ 地域の将来を支える人材育成のための魅力・特色ある高校づくり
 - ・多様な生き方・働き方を学ぶための環境を整備 など

基本目標Ⅳ 【魅力的な地域】 誰もが快適に生活できる安全・安心のまち

基本方針

- 1 地域コミュニティの活性化
- 2 デジタルインフラを活用した生活環境の整備
- 3 公共交通の利便性向上
- 4 地域資源の活用
- 5 持続可能な地域環境の実現に向けた取り組み

数値目標

- | | | | |
|-------------------------|---|-------------------|----------------------------|
| ① 登録防災士数 | ⑤ 情報伝達体制の多重化 | ⑨ 高齢者の公共交通利用率 | ⑫ 竹田市総合文化ホール（グランツたけた）の来館者数 |
| ② 救命講習受講者数 | ⑥ デジタル媒体を活用した情報発信件数 | ⑩ 公共交通の利用者数 | |
| ③ 地域のいろいろな行事に参加している人の割合 | ⑦ 行政手続きのオンライン化数 | ⑪ 再編路線、エリア及び実証運行数 | ⑬ 地域文化・芸術活動総件数 |
| ④ 各種国際交流講座参加者数 | ⑧ 総合業務システム又は介護ポット・センサー等を導入した市内介護保険事業運営法人の割合 | | |

主な取組の例

1 地域コミュニティの活性化

① 地域防災機能の強化

- ・ 自助・共助による自主防災機能の強化
- ・ ニーズにマッチした消防団等の防災組織の再編強化

② 多文化共生による地域力の向上

- ・ 多文化共生推進に向けたガイドラインの検討と整備事業
- ・ 在住外国人が地域で安心して生活を送るための相談窓口の活用促進
- ・ 外国人介護人材の受け入れによる多文化共生の促進 など

2 デジタルインフラを活用した生活環境の整備

① 通信インフラ強化と市民サービス向上

- ・ 通信基盤の整備強化
- ・ 強固な情報セキュリティの確立

② 行政機能のデジタル化

- ・ 行政手続きのオンライン化の拡充
- ・ ICTを活用した見守り支援等、暮らしの向上支援
- ・ デジタル活用による介護と情報発信の効率化
- ・ 市公式HP等、市政情報を市民に効果的に提供するための環境を整備

3 公共交通の利便性向上

① 広域交通ネットワークの推進と地域公共交通網の再編

- ・ J R九州と連携した地域活性化の推進
- ・ 利用者調査をととした地域交通の最適化と充実
- ・ 予約型乗合タクシーへのデジタル技術導入による利便性の向上
- ・ 通弱者に焦点をあてたコミュニティバス利便性強化

4 地域資源の活用

① 地域文化の体感と芸術文化振興による創造的なまちづくり

- ・ 市総合文化ホールや歴史文化館を拠点とした地域の文化や歴史を体感する機会の創出と市民の自主的な文化活動の支援
- ・ 芸術文化の振興及び組織育成の推進

- | | |
|-------------------------|---------------|
| ⑭ ごみ処理総量 | ② オンライン講習受講者数 |
| ⑮ 地域コミュニティ組織数
－ 候補 － | ③ 合併浄化槽設置数 |
| ① くらサポ新規活動会員数 | ④ 公有財産の有効活用件数 |
| | ⑤ 管理公共施設数 |

5 持続可能な地域環境の実現に向けた取り組み

① 強靱かつ環境に優しい循環型社会の構築

- ・ 地域の再生可能エネルギーを活用したCO₂削減対策の推進
- ・ ごみの資源化・減量化
- ・ 持続可能な森林づくり など

② 環境に負荷をかけない地域づくり

- ・ 人と環境の共生地域の形成のための検討・研究
- ・ し尿及び生活雑排水処理体制の維持・充実
- ・ 中心市街地における生活環境の改善促進

③ 地域に根ざした集落機能の維持と地域活性化の推進

- ・ 竹田市都市計画マスタープラン等に基づく持続可能なまちづくり
- ・ 地域の拠点を中心とした地域活動等への参加による地域力の向上
- ・ 地域コミュニティの形成など集落機能を維持する仕組みづくりの支援

④ 公共施設等の適正管理と有効活用の推進

- ・ 公共施設等の統廃合や民間譲渡などによる施設総量の適正化
- ・